

## プライバシーポリシー（個人情報保護方針）

日本化学療法学会 TDM ソフトウェア開発ワーキンググループ（以下、「当ワーキンググループ」という。）は、PAT および PAT pro ([https://www.chemotherapy.or.jp/modules/guideline/index.php?content\\_id=79](https://www.chemotherapy.or.jp/modules/guideline/index.php?content_id=79)) に入力された個人情報について以下のとおりプライバシーポリシー（以下、「本ポリシー」という。）を定めます。本ポリシーは、当ワーキンググループがどのような個人情報を取得し、どのように利用・共有するか、ユーザーがどのようにご自身の入力情報を管理できるかを説明するものです。

### 1. PAT および PAT pro 管理者情報

日本化学療法学会 TDM ソフトウェア開発ワーキンググループ  
住所：〒113-0033 東京都文京区本郷 3-28-8 日内会館 B1  
代表者：尾田 一貴（熊本大学病院 薬剤部）

### 2. 個人情報の取得条件およびその方法

当ワーキンググループは、PAT および PAT pro に入力された年齢、性別、体重、血清クレアチニン値、身長、血清アルブミン値、シスタチン C 値、長期臥床の有無、準長期臥床の有無、血清クレアチニン値補正、血液浄化の有無、ICU/小児 ICU 入室の有無、熱傷の有無、血清クレアチニン値変化の有無、薬物の投与方法、血中濃度の情報を取得させていただきます。情報には、患者の所属する施設や地域など、患者を特定できる識別子および属性情報は含まれず、個人情報保護にかかわるマニュアルに基づき履歴情報であるアクセス日時を削除することで、匿名加工情報\*に該当します。PAT および PAT pro 使用目的の項目で「臨床」以外を選択された場合、これらの情報は取得しません。

\*特定の個人を識別できないよう加工した個人情報であって、復元ができないようにしたもの

### 3. 匿名加工情報の利用目的

取得した匿名加工情報を分析し、PAT および PAT pro による投与設計最適化に役立てることを目的とします。取得した匿名加工情報の利用目的を変更する場合は、利用目的変更前後の関連性について合理性が認められる場合に限って変更するものとします。取得した匿名加工情報の利用目的について変更を行った際は、変更後の目的について当ワーキンググループ所定の方法によってユーザーに通知し、加えて Web サイト上にも公表するものとします。蓄積されたデータを用いて学会発表、論文投稿を行う際には、当ワーキンググループの所属施設における倫理委員会等の規則を遵守し対応します。

### 4. 匿名加工情報を安全に管理するための措置

当ワーキンググループは、取得した匿名加工情報を正確かつ最新の内容に保つよう努めます。

### 5. 匿名加工情報の第三者提供について

当ワーキンググループは、個人情報保護法に基づき、あらかじめ同意（ホームページでの）を得ないで第三者（当ワーキンググループの担当者以外）に、PAT および PAT pro を通じて当ワーキンググループが得た匿名加工情報を提供することは致しません。

#### 【当ワーキンググループの担当者】

- ・ 尾田 一貴（プロジェクト代表者）熊本大学病院 薬剤部・感染制御部
- ・ 木村 利美 順天堂大学医学部附属順天堂医院 薬剤部
- ・ 庄司 健介 国立成育医療研究センター 小児内科系専門診療部 感染症科

- ・ 松元 一明 慶應義塾大学薬学部 薬効解析学講座
- ・ 川村 英樹 鹿児島大学病院 感染制御部
- ・ 茂見 茜里 鹿児島大学病院 薬剤部
- ・ 佐村 優 横浜総合病院薬剤部
- ・ 田中 遼大 大分大学医学部附属病院薬剤部

## 6. 匿名加工情報に関する取扱い

当ワーキンググループは、匿名加工情報のみを、以下の対応にて扱います。作成元となった個人情報の本人を識別することは不可能です。

法令で定める基準に従い適正な加工を施す

法令で定める基準に従い情報管理等の安全管理措置を講じる

匿名加工情報に含まれる個人情報の項目を公表する

## 7. 保有匿名加工情報の開示、訂正

当ワーキンググループは、ユーザーや本人から個人情報の開示を求められても、取得時点ですでに匿名加工されていますので、個人を識別することは不可能であり対応は不可能です。

## 8. 個人情報取扱いに関する相談や苦情の連絡先

当ワーキンググループの個人情報の取扱いに関するご質問やご不明点、苦情、その他のお問い合わせは以下よりご連絡ください。

### **【問い合わせ窓口】**

担当者：尾田一貴（熊本大学病院 薬剤部・感染制御部）

連絡先：〒860-8556 熊本市中央区本荘1丁目1番1号

熊本大学病院 薬剤部 Tel. 096-373-7457 ; Mail. kazutakaoda@kuh.kumamoto-u.ac.jp

## 9. SSL (Secure Socket Layer) について

PAT および PAT pro は SSL に対応しており、Web ブラウザと Web サーバーとの通信を暗号化しています。ユーザーが入力する情報は自動的に暗号化されます。

## 10. cookie について

cookie とは、Web サーバーから Web ブラウザに送信されるデータのことです。Web サーバーが cookie を参照することでユーザーのパソコンを識別でき、効率的に Web サイトを利用することができます。PAT および PAT pro が cookie として送るファイルはありません。

## 11. プライバシーポリシーの制定日及び改定日

制定日：2022年12月1日 (ver. 1)

改訂日：2024年12月25日 (ver. 2)

2025年8月1日 (ver. 3)

2026年1月1日 (ver. 4)

## 1 2. 免責事項

当ワーキンググループ Web サイトに掲載されている情報の正確さには万全を期していますが、利用者が当ワーキンググループ Web サイトの情報を用いて行う一切の行為に関して、当ワーキンググループは一切の責任を負わないものとします。

当ワーキンググループは、利用者が当ワーキンググループ Web サイトを利用したことにより生じた利用者の損害及び利用者が第三者に与えた損害に関して、一切の責任を負わないものとします。

## 1 3. 著作権・肖像権

当ワーキンググループ Web サイト内の文章や画像、すべてのコンテンツは著作権・肖像権等により保護されており、無断での使用や転用は禁止されています。

## 1 4. リンク

当ワーキンググループ Web サイトへのリンクは、事前に日本化学療法学会への事務局へお問い合わせください。

2022 年 12 月 1 日 策定 ver. 1

2024 年 12 月 25 日 改訂 ver. 2

2025 年 8 月 1 日 改訂 ver. 3

2026 年 1 月 1 日 改訂 ver. 4

個人識別にかかわるリスクの評価、および匿名加工情報作成の方法の開示

1. ユースケースの概要

サービス名	PAT および PAT pro			
概要	バンコマイシンの投与量を調整するためのソフトウェア			
特定される個人の総数	0名			
個人情報	データ種別	データ件数	データ項目	項目
	属性データ	50万件	年齢	数値
			性別	男女
			体重	数値
			血清クレアチニン値	数値
			血清アルブミン値	数値
			シスタチンC値	数値
			長期臥床の有無	有無
			準長期臥床の有無	有無
			血清クレアチニン値補正	有無
			血清浄化の有無	有無
			ICU/小児ICU入室の有無	有無
			熱傷の有無	有無
			血清クレアチニン値変化の有無	有無
	投与量データ	50万件	アクセス日時	乱数を含めた数値列 およびハイフン
			PAT 使用目的	文字列
			バンコマイシン投与日時	数値
			バンコマイシン用量※	数値
バンコマイシン点滴時間※			数値	
バンコマイシン投与間隔※			数値	
バンコマイシン血中濃度※			数値	
匿名加工情報の利用目的	ソフトウェアの利便性改善			

※日時情報を含まず

2. 匿名加工の対応について

情報分類	対象情報	加工方法
識別子	該当なし	加工無し
属性	年齢	加工無し
	性別	加工無し
	体重	加工無し
	血清クレアチニン値	加工無し
	血清アルブミン値	加工無し

	シスタチン C 値	加工無し
	長期臥床の有無	加工無し
	準長期臥床の有無	加工無し
	血清クレアチニン値補正	加工無し
	血清浄化の有無	加工無し
	ICU/小児 ICU 入室の有無	加工無し
	熱傷の有無	加工無し
	血清クレアチニン値変化の有無	加工無し
履歴	アクセス日時	削除
	PAT 使用目的	加工無し
	バンコマイシン投与日時	削除
	バンコマイシン用量*	加工無し
	バンコマイシン点滴時間*	加工無し
	バンコマイシン投与間隔*	加工無し
	バンコマイシン血中濃度*	加工無し

### 3. 個人識別に関わるリスクの評価

・識別子：含まず

・属性：場所や日時を含んでいない一般的な履歴情報のみであり、個人が特定されるリスク、他の情報と照合されるリスク、あるいはデータを用いて本人へアプローチされるリスクは、いずれもないと考えられる。

・履歴：アクセス日時は、他の属性情報と組み合わせられて評価されることで、極度に頻度の少ない情報の場合（超高齢者、極度肥満など）に、他の情報と照合されるリスクがあるために、削除が妥当である。その他履歴情報は、個人が特定されるリスク、他の情報と照合されるリスク、あるいはデータを用いて本人へアプローチされるリスクは、いずれもないと考えられる。

### 4. 個人識別に係るリスクを踏まえた加工方法の検討

・識別子：含んでいないために検討せず。

・属性：個人識別に関わるリスクはないと評価されるために、検討せず。

・履歴：アクセス日時は削除する。その他は個人識別に関わるリスクはないと評価されるために、検討せず。

上記、匿名加工処理は、PAT および PAT pro 管理者が行う。